

会議の名称	令和2年度 第2回健康づくり推進協議会	
開催日時	令和2年10月16日(金)午後1時30分～午後3時10分	
開催場所	防災センター避難所①	
議題	①『第2次合志市健康増進計画・食育推進計画の計画策定について』第1次の取組み評価と課題整理(現状報告) ②その他	
会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="radio"/> 公開 <input type="radio"/> 非公開 <input type="radio"/> 一般公開 <input type="radio"/> (傍聴者なし)	(一部)非公開の場合、その理由
出席者	委員	今村友信、田中裕子、野崎智美、永清和寛、中島栄治、境敬一郎、松崎景子、松永幸孝、寺本秀信、森涼子、森泉
	事務局	岩田健一、坂井晴代、田中景子、溝口寛子、大湾夢乃
欠席委員	緒方光次郎、相良弘子、平田真央、峯登輝子	
議事内容	① 『第2次合志市健康増進計画・食育推進計画の計画策定について』第1次の取組み評価と課題整理(現状報告)	
	事務局	第2次合志市健康増進計画・食育推進計画策定にあたり、公募型プロポーザル方式で業者選定を実施した。プレゼンテーション及びヒアリングを実施した結果、株式会社ルネサンスに決定した。小中学生へのアンケート、ワークショップ、市民アンケートを実施し計画策定を委託している。詳細について株式会社ルネサンスにから説明を行なっていた。
	株式会社ルネサンス	第2回健康づくり推進協議会討議用資料にそって説明 (参考資料)合志市の健康づくりアンケート、食生活・生活習慣についてのアンケート
	議長	意見や質問のある方は発言をお願いしたい。 子どもの問題がでているが先生から意見はないか。食事の話もでており、その成果がでているのではないかと意見があったがいかがですか。
	委員	学校で取り組んでいるもので「自分もやっている、みんなもやっている」という意識を持つことで“健康”を自分の課題にすることができる。例えば朝から自分で起きるには家族で早寝早起きするなど、健康づくりが上手くいくのは、一人でするのではなくみんなですしているという意識をどれだけ作るかだと思っている。目標達成に向けた取り組みの視点の中の“誰ひとり取り残さないための取り組み”とあるが、ここで大事なことは一人にしないということ。みんなですしているというのを作り上げることが大事。健康診断も自分一人で行くのではなく、お互いに声をかけていく、誰かと一緒に行くなど横のつながりを持った活動にしていくことが効果をあげるのではないか。
	議長	他に意見等はないか。
	委員	先ほどの説明で共食、孤食が減少傾向にあるということでもいいことだと思った。体育の時間以外で体を動かす子どもが減少している。ボール遊びなどは小さい子どもがいると危ないと言われ、遊べない現状がある。子どもが外で遊べる環境を作ることも課題だと思う。最後に提案になるが、健診受診率の向上ということで、たまたま受けていない人が20%いるため、この人たちがどうしたら受診するのか追及し、できるだけ受診を促し健康増進に努めていただけるよう取り組んで欲しい。
	株式会社ルネサンス	先ほどの説明で誤解を与えてしまった。孤食の問題は悪化している。家族そろって食べる率が減っている。
	委員	子どもたちの食育は子ども達で改善できない。親が改善していかなければならない。親に対する学びを進めていかななくてはならないと思う。
	議長	他に質問等はないか。
委員	家族そろって食べるのが無理であって、孤食ではないと解釈をした。母と子どもが先に食べて、父が仕事でいないというように“家族そろって”に丸が付けられなかったのではないかと思う。	

株式会社 ルネサンス	現計画の行動目標に対しての実施状況を載せており、その評価として載せている。委員が言われたとおり、アンケートの中には誰かと一緒に食べるのか、子どもだけで食べているのかを聞いているため、完全に孤食ではなく親と食べている割合が出ると思う。
委員	家族そろってとなるとハードルが高くなる。
株式会社 ルネサンス	現計画の目標が“家族そろって”となっていたが、第2次の計画では“家族そろって”ではなく“大人と一緒に”というような目標値にすることを検討する。
議長	食事について意見が出ているが、食育に関して意見はないか。
委員	学校や保育園に行くことがあるが、必ず“早寝早起き朝ごはん”を目標に言っているが、ほとんど食べているように感じる。朝食を食べないと2時間目くらいから、頭痛や気分不良を訴え保健室に行くことがある。パンと牛乳でもいいから食べて行くように言っている。
議長	働いている親の子どもを預かっている保育園の先生からの意見をいただきたい。
委員	朝ごはんについて、味噌汁をつくるよう伝えている。おにぎりを持って車の中で食べながら登園する子どももいる。当然、親も朝食を摂っていないと考えられる。保護者へ、具は何でもいいから味噌汁を作るようお願いしている。
議長	歯の問題で、認知症などに関与があるとあったが、そのことについて歯科医の意見をお願いしたい。
委員	最近分かったことだが、側頭葉の認知症に対して、アミロイドβというたんぱく質が歯周病関連菌と血中移行すると、異常増殖することが分かった。そのようなことに関しても啓発していかねばならないと思っている。全体をとおして感じたことは、偏食が多いと感じた。偏食の問題に関して、専門家の皆さんで力を合わせて取り組むことが必要だと感じた。糖尿病の患者が急に増えた。コロナ禍でストレスが増え、交感神経のバランスが崩れたり、アドレナリンが過剰にでて、それが持続することで膵臓に悪影響を及ぼしインスリンの働きを妨げることが原因だと思う。
議長	他に意見はないか。
委員	国保40～64歳は働いている世代で、仕事以外の健康情報に触れる機会が少ないのではないかと思う。健康について考えてもらう際、色んな世代と一緒に考えることが必要だと感じた。
議長	世代を超えた地域との関係を築くことが大切だと感じた。中学校の先生から意見をいただきたい。
委員	年少人口が増えているのは本市の特徴で、本校にも約900人の生徒が通っている。そのうち97%が自転車通学で、長い距離を来るためそれだけで朝から体力を使っている。年度初めには体調不良になる生徒が多かった。朝食を食べるなど規則正しい生活習慣を身につけることが重要だと認識している。今の子どもは部活動や塾で疲れているように感じる。朝食だけでなく生活習慣全般を見直し、少しでもゆとりのある生活をさせることを目的に取り組んでいる。計画の基本方針の“誰一人取り残さないための取り組み”は非常に大事な取り組みと思っている。学校に來れない子どもの学力保障、自立の促しは重要な課題となっている。学校教育を含めると具体的な施策が展開できるのではないかと思う。
委員	高齢なため病気にならないように努めている。世代によって食の好みがあるため、家族内で調整し健康を維持するよう努めている。
委員	8月に開催されたワークショップに中学生と参加したが、暮らしやすさに関しては、ずれを感じなかったが、地域のつながりについてはかなり誤差があった。地域の子供達とのつながりができていないと実感した。
事務局	次回の会議の予定は令和3年2月3日(水)の1時30分から開催を予定。詳細は後日通知でお知らせします。